



としょかんだより

令和7年2月

第9号

牡丹山小学校図書館

ほん か だ お すこ
本の貸し出しが終わるまで、あと少し。

やす じ かん と しょ かん
休み時間も図書館にきてね！



ぞうしょてんけん ほん か だ がつ にち きん お
蔵書点検のため、本の貸し出しは2月28日（金）で終わりになります。そ
のため、ほん か き かん の こ がくねん ほん
のために、本を借りられる期間は残りあとわずかです。「学年おすすめの本」に
ちようせん ひと けいかくてき どうかしよ どうかは め ぎ
挑戦している人は、計画的に読書をすすめて読破を目指しましょう！

こんげつ ほん
今月のおすすめ「チョコレートの本」



みんなが大好きなチョコレート♥口の中に入ると 幸せな気持ちになり
ますよね。お話の中に登場するチョコレートも、きっとみなさんを楽しませ
てくれますよ。ぜひ本の中のチョコレートも味わってくださいね。

『こねこのチョコレート』

B.K.ウィルソン／作、小林いづみ／訳
おおこそれい こ え ほん ほんごう
大社玲子／絵、本の番号：こ



おとうと び かたち
弟のたんじょう日プレゼントに、こねこの形のチョコ
レートを買ったジェニー。ところがその晩、食べちゃだめと
わかっていても「ひとつだけ、ひとつだけ」と言いながら、
6つのチョコレートを全部食べてしまいました。明日のたん
じょう日、どうしたらいい？

『チョコレートタッチ』

パトリック・T・キャトリング／作、佐藤淑子／訳
いづの かじ え ほん ほんごう
伊津野果地／絵、本の番号：933 き



チョコレートが大好きな男の子、ジョン。ごはんは残し
てお菓子ばかり食べていて、注意されてもやめられません。
ある日、ひろったコインで買ったチョコレートを食べると、
さわったものがなんでもチョコレートに変わってしまいま
す。はじめは喜んでいたジョンでしたが…。



カステラの上にチョコレートをかけて、魔法使いがチョコレートケーキを作りました。そしてパーティーを開いて子どもたちを招待したのですが、だれも来ません…。なぜなら、子どもたちは魔法使いに、きみのわるいものに変えられてしまうと思っていたからです。本当にそうなのでしょうか？

保護者向け

としょかんだより



子どもと読書をつなぐコツ

もうすぐ年度末を迎えます。お子さんは家庭で読書する習慣がついてきたでしょうか。特に、学年が低いうちに習慣化することをおすすめします。以下のコツを参考になさってください。



□ 小さいうちからたくさん本を読んであげる

3年生くらいまでは親子で読み聞かせを楽しめます。それ以降は個人差が出てきますが、要望があれば何歳でも読んであげてください。夕食の後や寝る前など、時間を決めておくと習慣化しやすいです。時間がないときには途中まで読んで、「続きはまた明日ね」といっておくと、続きが気になる子どもは自分で本を読んでいたりすることもあります。「楽しい」「おもしろい」といった気持ちを引き出せたら大成功です。

□ 身近な大人が本を読む姿を見せる

読み聞かせ期を経過した子どもには、「大人の読書見せつけ作戦」です。大人が夢中で本を読んでいる姿、クスッと笑っていたり、楽しみながら読書する姿は、子どもに「本っておもしろいの？」という興味をもたせます。

□ おうちでの読書環境を整える

自分だけの本棚を整えてあげてください。大げさなものでなくリビングの一角で十分です。自分の本だけでなく図書館で借りてきた本も並べると、次はこれにしよう、と積極的に選ばうという気持ちにもなりやすいです。本を並べてみると子どもがどんな本を読んでいるのか、どんなことに興味を持っているのかもわかります。

3つのコツを持続することがポイントとなります。読書は習慣ですから、ご家庭の中に読書の雰囲気を作り出せるといいですね。

大人も子どもも忙しい毎日ですが、読書の習慣化には大人の手助けが必要です。「読書は人生をよりよく生きるためのもの」、「読書の習慣は一生の財産」と言われます。子どもたちに、その力をつけてあげたいものですね。

(司書・村上)